



編集後記

今回の特集は卒業生のその後を取り上げました。同窓会事務局に協力いただきアンケートを実施しました。就職や進学の参考になればと思います。また、これぞ工業高校!という実習風景も掲載しました。ご家庭でお子さんや家族との会話のネタになればいいなと思っています。撮りためた写真の中からこれぞ!というショットを選び、慣れないPC操作に悪戦苦闘しながら、なんとか第65号を完成させることができました。撮影に協力いただいた皆さん、広報活動に参加してくれた委員の皆さん、ありがとうございました。(広報委員長 箱石)

学校のホームページに生徒たちの「活動の様子」がたくさん更新されています!



CONTENTS

- 校長挨拶、PTA会長挨拶、PTA活動紹介 ●部活動紹介
- 学科紹介 ●ねぶた祭 ●大運動会 ●青工祭 etc
- 【特集】卒業生紹介 ～先輩たちの“今”気になりませんか?～



青森県立青森工業高等学校

〒039-3507 青森県青森市馬屋尻清水流204番1 TEL:017-737-3600 FAX:017-737-3601 URL:https://www.aomori-th.asn.ed.jp

校長先生挨拶

「青工高 PTAだより」発刊に寄せて

校長 津島 節



今年も残りわずかとなりましたが、PTAの皆様におかれましては、平素より本校の教育活動に対しまして、ご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

改めまして、この度の人事異動で、4月1日付けで赴任いたしました校長の津島と申します。私の教員生活で、本校には4度目の赴任で、通算19年目の勤務となりますが、生徒のための学校経営に尽力していきたいと考えておりますので、今後とも保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

さて、令和6年度がスタートし、早8ヶ月が過ぎました。学校行事では、4月7日の入学式から始まり、様々な諸行事を大きな事故等もなく順調に実施してきましたが、生徒たちの様子を見て、コロナ禍とは違って平常の教育活動を行えることを大変喜ばしく感じております。また、交通安全運動、挨拶運動、青工祭等では、PTAの皆様をはじめ、各委員会の多大なるご支援、ご協力をいただき、生徒も学校も元気をいただきました。ありがとうございました。年度初めのPTA総会で「元気で明るい、そして生徒が楽しいと思えるような学校づくり」という私が目指したい学校についてお話ししました。コロナ禍では、生徒にとって何がベストなのか暗中模索の中、教育活動を行ってききましたが、だからこそ、これからは元気で明るい学校、生徒が学校生活を楽しんでいるような学校を目指したいと考えています。そのためには、学校だけの教育活動では不可能なことであり、保護者の皆様、PTA、地域の皆様のご協力が必要不可欠です。今後とも教育活動のいろいろな場面で、お力添えをいただくこともあろうかと思いますが、その際はよろしくお願いいたします。

結びに、PTAの皆様のご協力を重ねてお願いするとともに、保護者の皆様の今後ますますのご健勝とご多幸を祈念いたしまして、PTAだより発刊にあたってのご挨拶といたします。

2024 | 年間PTA行事・活動内容

- [4月] 入学式・PTA入会式
PTA会計監査
PTA役員会
PTA総会
- [5月] 春の交通安全運動
東青地区協議会総会
春のあいさつ運動
列車指導
県高P連総会
- [6月] 県高P連十和田大会
PTA学年部会
県高P連広報紙づくり研修会
運動会
- [7月] 東北高P連山形大会
第1回研修教室
東青地区研修委員会研修会
- [8月] 担ぎねぶた運行・着付・合同巡視
全国高P連茨城大会
- [9月] 秋のあいさつ運動
秋の交通安全指導
第2回研修教室
PTA研修旅行
- [10月] 東青地区健全・研修合同研修旅行
青工祭
PTA会計監査
- [11月] 第3回研修教室
PTA2学年部会
東青地区協議会研修会
- [12月] 2年生修学旅行
PTAだより発行 (65号)
- [2月] PTAごくろうさん会
- [3月] 卒業式
東青地区協議会総括会

PTA会長あいさつ



日頃より青森工業高校PTA活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

また、各委員会で活動されている皆さま、あらためて感謝申し上げます。

今年度PTA会長を務めさせていただく赤屋敷です。「歌って！踊れる！PTA会長！」を目指していた中村さんから引き継ぎました情熱と元気いっぱいの青森工業高校PTAを更に盛上げて行けるよう頑張る決意をいたしました。皆さんと楽しく活動するために、色々な事にチャレンジしていきます。

今年の入学式に、津島校長先生の「生徒・保護者、地域の皆さまが元気で明るく楽しいと実感できるような学校づくり・・・」というお話を聞いて共感いたしました。私たち保護者も「生徒・教職員・地域の皆さまが元気で明るく・・・」となるために何が出来るか考えた結果、「褒める」事と「感謝する」事にチャレンジしてみようと思いました。褒められたり感謝されたりしたら、その瞬間、良い気分になれるのではないのでしょうか。

言葉にするなら「それ（これ）いいね！」と「ありがとう！」でしょう。伝わった時あなたはどんな気持ちになりますか？

まずは身近な人に声を出して「それ（これ）いいね！」と「ありがとう！」を伝えてみませんか。きっと笑顔で楽しくなるに違いありません。

今後も、PTAの皆さまが笑顔で、楽しく活動出来るようお手伝いさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

健全育成委員会



研修委員会



PTA会長

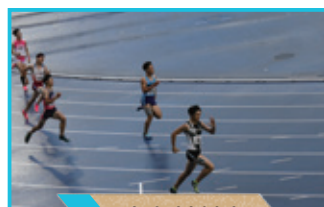
広報委員会

部活動紹介

運動部



野球部



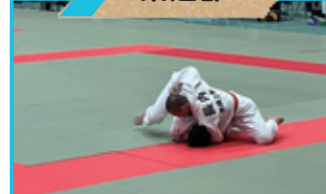
陸上競技部



ラグビー部



柔道部



サッカー部



バスケットボール部



バレーボール部



ソフトテニス部



卓球部



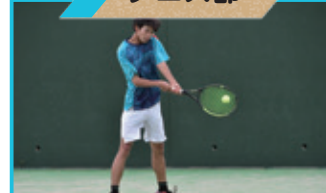
山岳部



バドミントン部



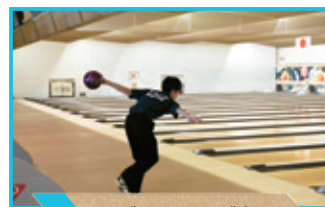
テニス部



ボクシング部



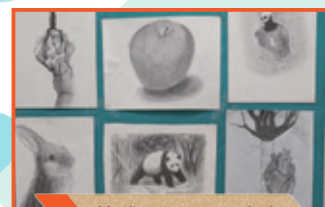
ヨット部



ボウリング部



文化部



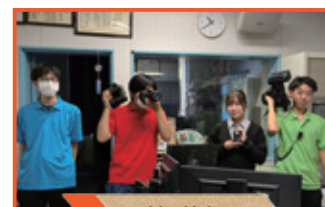
美術・漫画研究部



華道部



写真部



放送部



吹奏楽部



科学部



JRC部



工業クラブ



応援団



生徒会



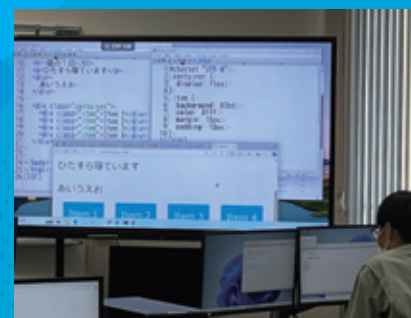
学科紹介

Machine



機械科

System engineering



情報技術科

電気科

Electricity



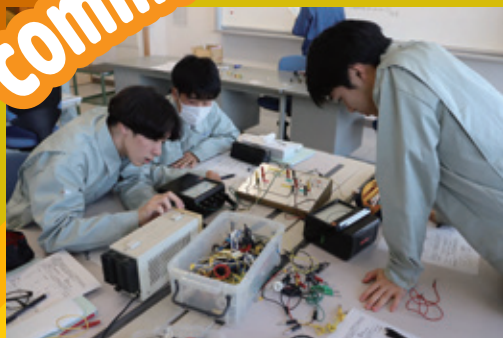
Architecture

建築科



Computation communication control

電子科



Urban environment

都市環境科





青工ねぶた いざ、出陣!!



卒業生紹介

Alumni introduction

先輩たちの“今”、気になりませんか？
各科から代表して7名の先輩たちに
アンケートに答えてもらいました。
進学や就職の参考にしてみたいかがでしうか。



- ①氏名・年齢 ②学科 ③現在の勤務(在学)先、勤務(在学)年数 ④卒業後の経歴 ⑤現在従事している(主に取り組んでいる)仕事(学習)内容
⑥現在の職場(学校)・職種を選んだ理由 ⑦高校在学中に頑張ったこと(取得して良かった、取得しておけばよかった資格など) ⑧就職(進学)してから困ったこと
⑨後輩へのメッセージ



- 1 立田 健太 (39歳)
たつた けんた
- 2 電気科
- 3 ねぶた師 立田 龍宝
勤務年数(12年)

- 4 国立大学法人弘前大学教育学部、大学卒業後、4年間青森県立青森工業高等学校で勤務、渉外部常駐で、電気科にいました。(大変だったけど、楽しかったなあ！)(2010～2013)
- 5 青森ねぶた祭に出陣する大型ねぶたを制作(公益社団法人青森青年会議所、東北電力ねぶた愛好会)、地域・子供ねぶたも制作。県内外問わずねぶたやねぶた造形を制作。
- 6 5歳の頃、毎週日曜日にねぶた制作を見る機会があり、どんどん出来上がっていくねぶたを見て感動し、更にはねぶた祭りという大きな舞台で練り歩くねぶたを見て感動し「ねぶたをつくる人」になりたいと思った。その後、14歳(中2)の時にねぶた師 内山 龍星氏に弟子入り。14年修行し2013年にねぶた師デビュー。
- 7 ねぶた同好会(現 ねぶた部)に所属し制作・運行をした。特に資格取得では、第二種電気工事士、認定電気工事従事者、第一種電気工事士、工事担任者(DD3種、AI3種)、危険物取扱者(乙種1,2,3,4,5,6類)、消防設備士(乙種7類)、2級ボイラー技士などを取得。検定試験では、情報技術検定(2,3級)、計算技術検定(3級)。
- 8 英語をもっと勉強すればよかったと思っています。読み書きもそうですが、世界の共通語ですから、簡単なリスニング、ヒヤリング、スピーキングができると世界が広がること間違いなしです。海外に行った時も単語は言えますが、ビジネスとしての会話が大切です。
- 9 高校3年間はあっという間です。本当にあっという間です。しかし、その3年を振り返ると楽しい思い出がいっぱいです。友達と遊んだこと、友達と資格取得の勉強を朝までやったこと、友達と部活に励み、友達と運動会、文化祭で1つの最強のクラスになったことです。工業高校は、クラス替えがなく3年間同じ友達と授業・実習が一緒に、他の高校にはない友情があると思っています。高校を卒業して20年が経ちますが、今も高校の友達が宝で、濃い3年間でした。友達もそうですが、最強の先生方がいつも味方をしてくれて、叱られ、励まされ、褒められ、一緒に喜び合った先生方に感謝です。そんな先生方の影響で就職に就きましたがこれもまた楽しかったですね！とにかく、懸命に楽しく、高校生活を過ごしてください。それがこれからの人生の糧になっていくと思います。



- 1 石田 健佑 (27歳)
いしだ けんすけ
- 2 電気科
- 3 大館市
令和6年9月1日
大館市長就任

- 4 平成28年 4月 東京地下鉄株式会社 入社
平成29年 10月 一般社団法人DMMアカデミー 入社(～30/4)
平成30年 1月 株式会社La Tier 取締役(～H30/6)
令和 元年 6月 株式会社TOMUSHI 代表取締役(～R6/2)
令和 5年 5月 大館市議会議員(～R6/6)
令和 6年 1月 一般社団法人大館青年会議所理事・青年育成委員長
令和 6年 9月 大館市長
- 5 首長として、地方公共団体(大館市)の事務の管理及び執行を司っている。
- 6 厳しい人口減少社会の中、これからは地域資源や魅力溢れる地方の時代が来ると確信しており、これを活かしてふるさとを良くしたいという想いから、市長職に挑戦した。
- 7 学業では将来の選択肢を広げるためにも常に高い評価を頂けるよう努力した。部活動では高校に入ってからバスケットボールを始めたため、人と同じことをやっていたのはレギュラーを取れないと考え、ゴール下のポストプレーに特化して練習を重ねてレギュラーを勝ち取った。
- 8 就職前と就職後のギャップ。職場環境、仕事内容、昇進制度、勤務地や居住地での生活など、イメージと違ったと感じる部分もあった。あらかじめ情報収集をしたり、身近に相談できる人がいるということ是非常に大切だと感じた。
- 9 数多くの仕事の選択肢があると思うが、「やりたいこと」を最優先して選んでください。「やりたいこと」は仕事へのモチベーションにつながり、結果に現れる。仕事に就いてからは、とにかく行動量とコミュニケーション力を発揮してください。若い世代の武器はこの二つ。やりたいことや夢は、多くの経験から見つかるもの。スマホよりも経験に時間を使おう！



卒業生紹介

Alumni introduction

①氏名・年齢 ②学科 ③現在の勤務(在学)先、勤務(在学)年数 ④卒業後の経歴 ⑤現在従事している(主に取り組んでいる)仕事(学習)内容
⑥現在の職場(学校)・職種を選んだ理由 ⑦高校在学中に頑張ったこと(取得して良かった、取得しておけばよかった資格など) ⑧就職(進学)してから困ったこと
⑨後輩へのメッセージ



① **赤平 勇人** (34歳)
あかひら ゆうと

② **機械科**

③ **青森市議会議員
(6年)**

④ 卒業後、2009年4月～宮城県で製造業
2011年～アルバイトなどを経る
2012年～政党に勤務
2017年 衆院選青森1区候補
2018年～青森市議会議員

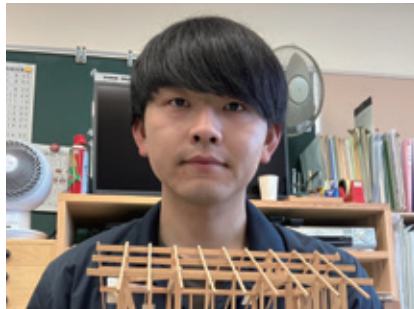
⑤ 青森市議として、議会活動したり地域の相談活動など

⑥ もっと若者が生きやすい社会をつくりたいと思って、政治の世界に飛び込みました。

⑦ 高校在学中はアルバイトばかりしていましたが、先生のすすめで危険物取扱者(乙4)にチャレンジしたり(不合格でした…)、技能検定(手仕上げ)にチャレンジしました。取得できなかったものもありますが、そうしたチャレンジして得た技術や知識は、今に活かしています。

⑧ はじめての一人暮らしで、家事全般どうやればいいのか困りました。また突然訪問してきた業者に、消火器を法外な値で買わされたりといういろいろありました。

⑨ 青森工業高校のみなさん、高校生活を満喫していますか。高校時代の私は、アルバイトに明け暮れて、将来のことをあまり考えずに“今楽しめればいい”という思いで過ごしていました。思い返せば、高校生という期間は“特別な時間”だったと思います。この先“自分はどう生きたいか”“そのために今何をすべきか”ということを実際に考えることができる時間は、社会人になってからは減少に訪れません。青森工業高校は様々な経験ができる学校です。その環境をいかして、今しかない特別な時間を大切に、素敵な高校生活を送ってください。



① **山口 大翔** (24歳)
やまぐち ひろと

② **建築科**

③ **青森県立
青森工業高等学校
(0.5年)**

④ 建築設備・空調・電気・飲食店

⑤ 実験・実習の補助、実験室の維持管理
校務分掌 部活動等の顧問

⑥ 中学生の時、ねぶた制作のお手伝いをさせていただくことがあり、その頃からものづくりに興味がありました。また家を新築した際に、思い出の家が残らない事を寂しがっていた祖父母の声を聞いた設計士の方が、取り壊した家の一部を使用した計画をしてくれました。要望以上の結果を出す姿に、私も建築を通して人々の生活を豊かにしたいと思い、決めました。

⑦ 部活動(テニス部・工業クラブ) 2級施工管理技士
勉強

⑧ 新しい環境への対応。仕事への向き合い方、モチベーションの維持
引越しの際の様々な手続き

⑨ 3年間はあっという間に過ぎます、部活動・勉強・資格取得様々なことに取り組んでみてください。生活するなかで目の前のことから逃げたくなることがあると思います。そこで頑張るかは自分次第です。自分を信じて頑張ってください。1年間は8760時間です。そのうちのおよそ2000時間を仕事に費やします。この2000時間を自分のやりたいことのために使えるよう、まずは自分が本当にやりたいことを見つけてみてください。些細なことでもよいと思います。自分で気になることややってみたいことに、どんどん挑戦してみてください! また、人は努力を継続する際に、目標としてより具体的な内容や期間を設定すると良いと言われています。自身にやりたいことがあるなら、目標を明確にして様々なことに挑戦してってください! 私も、「自分が何も知らない」という事に自分自身が気づき、周りの人、学習、色々なことを真似し学んでいきます。



① **工藤 心花** (21歳)
くどう こほ

② **都市環境科**

③ **株式会社 大阪組(2年)**

④ 新卒 株式会社 木村建設(2年)
現在 株式会社 大阪組(2年)

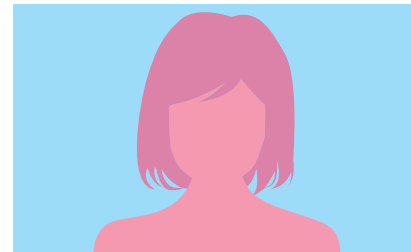
⑤ 土木現場監督
主に施工管理(写真・安全・品質管理)

⑥ いつも使っている道路などを自分の手でつくりあげることに興味があったから

⑦ 在学中は2級土木施工 一次試験まで取ることができるので確実に取った方がよい。
測量士補等はできればあった方がよい。

⑧ 上司や世代が離れている人とのコミュニケーション

⑨ 在学生の皆さん! 将来の街づくりやインフラ整備を担うための重要な知識と技術を学んでいる事に誇りを持ってください。毎日の授業や実習で身につけたスキルが、就職してからの自分の力になってくれます。将来の事で悩む事もあるでしょうが、常に前向きに、そして柔軟な発想で学び続けてください。応援しています。



① **岩崎 美莉亜** (19歳)
いわさき みりあ

② **電子科**

③ **田中貴金属工業
株式会社(6ヶ月)**

④ 卒業後就職

⑤ 技術者に必要な知識と技術の勉強

⑥ ・設備の修理をする仕事に関わりたかった
・給料と県外であること

⑦ ・部活動
・資格勉強

取得してよかったのは電気工事士(2種)、取得しておけばよかったのは危険物取扱者(乙4)

⑧ ・料理
・環境(仲のいい友人と会えない、通勤が厳しい)

⑨ 春から、暮らしたことのない土地と慣れない環境の中での仕事、はじめはとても苦しかったです。体調不良などもあったけど、自分のやりたい仕事に就けたことは心の支えでもありました。自分がやりたいことができているのは、学生時代の様々な努力と、支えてくださった両親や先生のおかげだと思います。楽しいことも辛いことも今ですべて大切な思い出であり、必要な経験です。在校生の皆さんには勉強も部活動も、今をより楽しく過ごし、将来自分がやりたいことに向かって頑張ってください。



① **三澤 佳奈** (22歳)
みさわ かな

② **情報技術科**

③ **青森公立大学
4年生**

④ 青森公立大学 経営経済学部 地域みらい学科 入学

⑤ 学内の講義の他に、ゼミ演習やフィールドワークに取り組んでいます。実際に現地に足を運び、地域を多角的に見る力を身に付けるために行動しながら学んでいます。現在は、自分の研究テーマに沿って聞き取り調査を行いながら、卒業論文を執筆しています。

⑥ 大学を選んだ理由としては、地域密着型で勉強することができ、地域に貢献するための実践力を身に付けることができると思ったからです。行政職員として仕事をしたいという意志を持っていたため、地域と関わりながら学ぶことができる点に惹かれ入学することを決めました。地域みらい学科を選んだ理由は、実際に地域に足を運び、住民と関わりながら地域への理解を深めていくことができる点に魅力を感じたからです。

⑦ 資格取得です。さまざまな資格に挑戦した中でも、取得して良かったと思うものは、「パソコン利用技術検定」です。授業や資格取得を通して身に付けたパソコンに関する技術は、大学生活の中ではもちろん、就職してからも役立つものだと思います。

⑧ 大学に進学してから困ったと感じることはほとんどありませんでした。大変だったことは成績を維持することです。学生の履修責任を明確にするためのGPA制度によって、一定の学力水準に達することが決められているため、常に上を目指して勉強し、理解を深めていくために毎日机に向かいました。自分に合った勉強の仕方を見つけ、手を抜かず努力し続けたことが今の成績につながっていると思います。

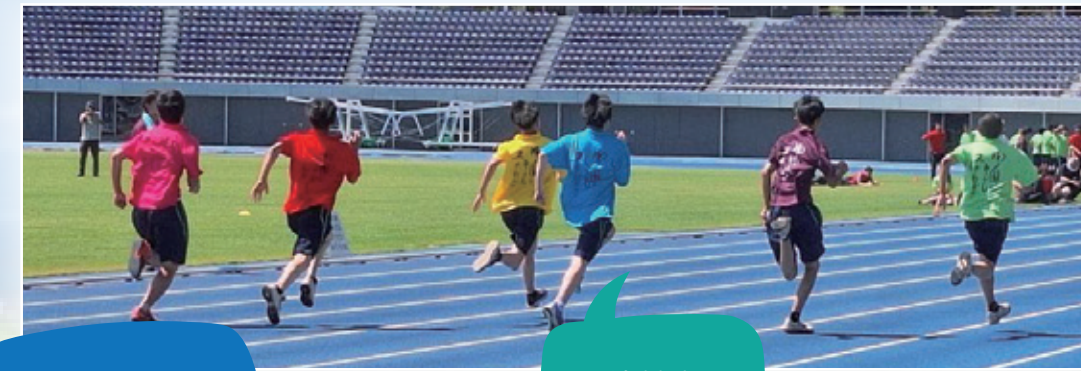
⑨ 高校生活に限らず、これから先も新しいことに挑戦する気持ちを持ち続けることが大事です。これまで経験したことがないことにも積極的に取り組んでいくことが自分を成長させることに繋がります。私自身、高校生活・大学生活を通してさまざまなことに挑戦してきました。経験を重ねながら過ごすことで、物事に対する考え方や見方、取り組み方などが変化し、充実した生活を送ることができていると感じています。学生生活は想像以上に時間が経つのが早く、あっという間に過ぎていきます。限られた学生生活の時間を後悔なく過ごしてください。

灼熱の大運動会

R6.6.28

異常気象の暑さにより、医務室利用者が急増のため、プログラムを変更しての開催となりました。

- 機械科
- 電気科
- 電子科
- 情報技術科
- 建築家
- 都市環境科



3 年生
台風の目

徒競走

2 年生
ムカデ競争



1 年生
玉入れ



長縄跳び



部対抗リレー



障害物競走





青工祭

2024年10月19日~20日

生徒の皆さんが来校者に楽しんでもらおうと
声を張り上げて頑張る姿に感動しました!
とても楽しい2日間でした!

2日間での
来場者数
1866人

